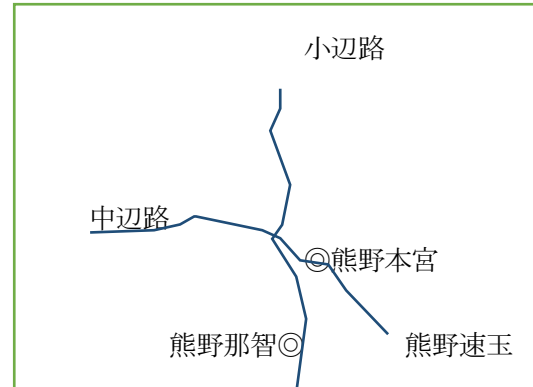


田辺から熊野本宮までの中辺路の表参詣道を、滝尻から近露王子、発心門王子、熊野本宮大社までの 39k コースを 2 日間で歩く。

- ・とき：2016 年 4 月 28～30 日
- ・山域：中辺路町 滝尻～近露～発心門～熊野本宮大社
- ・参加：福井清志 下窪義文 大井チズコ 隈元澄子
- ・日程：4/28 22:00 大阪駅
4/29 2:00 滝尻王子駐車場（仮眠）
滝尻～近露王子～熊瀬川王子幕営
4/30 熊瀬川～熊野本宮＝和歌山道＝大阪



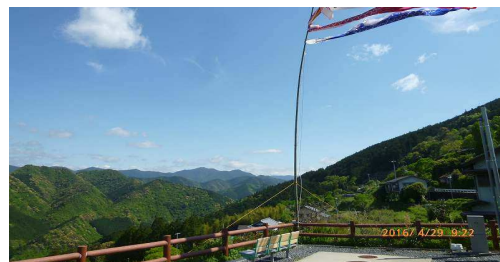
五月前半の連休を利用して熊野霊場を旅することにした。

熊野古道は熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）や高野山との聖地を結ぶ巡礼の道で、熊野は古代より自然崇拜に根差した新道で神聖な地とされている。1000 年以上前から上皇や貴族、武士、庶民に至るまで多くの人々が熊野の神の加護を祈ってこの道を通ったとされ、古代ロマンに触れることでパワーを感じ取ることができるのか、滝尻地区の観光用駐車場で仮眠後車を置いて 2 日間で本宮まで歩く、本宮からの帰りはバスで滝尻まで戻ることにした。

（5/29）土産物店横の滝尻王子宮でお参りしてから出発する。ここから神域の始まりで 500m 毎に道標があり分かりやすくなっている。登りに入ると中腹に乳岩と胎内くぐりの伝説の岩がある。中辺路コースは標高が割合に低く石畳もあってハッキリした道を歩くことができる。標高 330m の高原霧の里休憩所でおばちゃんのおもち餅を頂く、昨年縦走した和田の森山・冷水山の果無山地を眺めることができる。7k ほどは山道で自販機なしの看板ある。道標に従って登り下りで今回の最高地点 690m の上多和茶屋跡を通過し下りに入ると県道の道の駅でバス停にでる。再び古道に入り 15 分で牛馬王子の像、暫く歩くと日置川沿いの近露地区にでる。小中学校、郵便局、なかへち美術館もあり世界遺産になってから観光地を訪れる人も多い。坂車道を登ると中腹道が続き継桜王子では古杉を見ることができ、外国人を見かける。暫く車道が続き小広王子の峠を下り熊瀬川休憩所の東屋で水場有のビバーク地とする。



土産物店の横に滝尻王子宮がある



高原霧の里休憩所からの果無山地の眺め



牛馬童子像



古道歩きが続く



熊瀬川休憩所の東屋

(5/30)

早朝熊瀬川を出発し岩上峠を下ると林道に出る、この先の古道が一昨年の大雨で通行止めのためう回路の看板がある。林道を少し下りう回路の登山道に入る。4kmほどで距離は変わらない。コメツツジやウツギの花が咲いているシカ除けネットを潜り登ると三越峠に出る。立派なトイレ付き休憩所がある。古道の入口の鳥居を下って行くと猪鼻王子で少し登れば発心王子のバス停に出る。ここは本宮から10kmほどの所にあり一般者も本宮までのガイドツアーで熊野古道を体験している。水呑王子、伏拝王子には茶店もあり昼食をとっている。道端の茶畑から果無山系の眺めがよくガイドさんが説明してくれる。熊野本宮に着くと大勢の人がお参りしている。14:37 発の神明バスで滝尻に向かった。

◎九十九王子・・・京都から熊野三山までの信仰の道に設けられた神社、熊野権現の御子神を祀る分社
◎一里塚・・・江戸幕府紀州藩時代に創設され、紀州和歌山城を起点にして一里ごとに設置されたそうです。熊野古道は古い平安の御代に始まって色々な人が歩いたことが伺えます



発心王子宮



熊野本宮の八咫鳥の黒いポストで

【コースタイム】

熊瀬川 6:00～岩上峠～6:30 林道（本来の古道が土砂崩れのため4kmの迂回路に入る）
8:48 三越峠（車道の綺麗なトイレ）～9:30 道の川集落跡～10:28 発心門王子（バス停あり）
11:45 伏拝王子・茶畑から果無山地の眺め良～12:39 小辺路コースと合流～13:10 はらいど王子～
13:22 熊野本宮大社～14:37 発明光バスで滝尻へ戻る～15:34 滝尻着
16:00 滝尻発＝紀伊田辺 I C＝湯浅御坊道路＝阪和道＝阪神湾岸＝大阪着 18:45（走行 400km）

【感想】 ・紀伊半島南端までの距離は、阪和道を利用したら意外と近く早く感じた
・取付きが分かりにくいかと思ったが事前に調査して良かった。中辺路が街になっているのには驚いた。
・世界遺産で縦走大会をできたら古代人に近づくのではと思った
・熊野本宮境内で八咫鳥神話の黒いポストがあり、幸せを導いてくれそうな感じがした

※地元のバス 龍神バス 0739-22-2100 JR 田辺駅～滝尻～本宮間
明光バス 0739-42-3005 白浜空港～滝尻～本宮間